

平成29年度 第2回千葉県ダブルダッチ協会 会議 議事録

開催日：平成30年3月18日

会場：翔洋学園高等学校千葉学習センター

参加者10名

さなか (AX)

ゆうのすけ (AX)

ゴリ (AX)

しゅん (津田沼びょん)

ジョー(ReiB OB/NorthRopes)

及川 (ZERO-ONE)

しょーいち (超三流)

TAKA(AT-OUT)

西川 (STEP UP)

としたか (おしやらぐVibes)

以上

※通称表記・敬称略

【議題】

1.平成29年度活動報告及び会計報告

1.1 ダブルダッチチャレンジ in 千葉 活動報告

AXさなかの発案により実現された、津田沼びょん、ReiB、AXの新入生向け歓迎イベント。
新入生中心のパフォーマンス発表会や、団体を横断した大縄ダブルダッチ、スピード大会を実施した。
本イベントの運営資金にはJDDAからのダブルダッチチャレンジの補助金が適用された。

1.2 実現できなかった活動について

29年度第1回定例会で活動予定としていた以下の活動については実現することができなかった。

- ジェフコラボイベント
- 夏の定例会
- 各団体への訪問

1.3 会計報告

会計報告の詳細については別紙参照。内容について参加者からの承認を得た。

2.平成30年度千葉県ダブルダッチ協会活動方針

千葉県ダブルダッチ協会規約に基づいて、活動方針について以下のように確認をした。千葉県ダブルダッチ協会は、千葉を活性化することを目的としたダブルダッチの”普及”を図るため、プレイヤーの支援をする団体である。
詳細については以下の通り。

千葉県ダブルダッチ協会活動方針

- 千葉を舞台に活動したい人たちが集い、ともに活動する母体となり得る団体
 - 千葉におけるダブルダッチの窓口的な役割も担っている
-
- ・ 県内各団体の代表者が参加しなければいけない団体ではなく、主体的に活動したいと考える誰もが自由に参加できる団体
 - ・ JDDAの意向に沿って活動する団体ではなく、JDDAからの依頼もあくまで一案件として、CDDAの活動方針に則ってその是非を判断できる
 - ・ ダブルダッチ人口の拡大（=JDDA会員増）を目指す団体ではない
 - ・ CDDAの行う「ダブルダッチの普及」は地域の人々がそれにより楽しんでもらうことを目指したもので、露出機会の増加や地域への定着に主眼をおいている点で異なる
 - ・ CDDAの取り組みやその姿勢を提示することで、ダブルダッチ界全体が更に発展することは大いに願っているが、ダブルダッチ界全体の改善や改革、或いは不足を補うなど、それ自体を目的とした活動を行うものではない

3.平成31年度からの体制変更について

平成31年度より千葉県ダブルダッチ協会会長の大橋、副会長の小泉が現職から離任する。理事会に大橋は残留し、小泉は離任する。平成31年度以降の体制については現在は未定である。